



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実 活動報告

令和4年7月15日発行

島崎 実 事務所
〒198-0063
青梅市梅郷6-1511
TEL 0428-76-0358
E-Mail info@minoru-kai.com

6月27日に梅雨明けとなりました。観測史上、最も早い梅雨明けです。体調管理・熱中症には、十分お気をつけ下さい。また、コロナ感染者数が増加しています。引き続き感染対策をよろしくお願ひします。さて、私事で恐縮ですが、3・4月に体調を崩したため、4月にお送りすべき「活動報告」を休ませていただきました。今回は、3月議会・6月議会の私の一般質問を中心に報告させていただきます。新型コロナの終息が見えない中、2月24日ロシアがウクライナに侵攻しました。明らかな国際連合憲章違反であり、武力による現状変更は決して許されるものではなく、強く抗議するとして、市では、3月4日に抗議声明を発表しました。私は、6月議会の一般質問で、ロシアの軍事侵攻を非難し、平和な生活を脅かされ、避難を余儀なくされたウクライナ避難民の青梅市への受け入れについて質問しました。質問を通じ、避難民受け入れを含め、ウクライナ支援の具体策を質問しました。

- ◎総合病院の建て替え工事が順調に進んでいます。
- ◎建て替え後の新病院の名称は「市立青梅総合医療センター」となります。これは、新病院が高度で総合的な医療機関であり、青梅を基盤として、西多摩全域の医療を守る中心的存在であることがイメージできるためです。



- ・3月14日視察、地下の基礎工事が進んでいます。
- ・6月16日視察、4階までの鉄骨が組み立てられています。

「3月議会報告」

- ◎令和4年度各会計予算は、市長提出議案通り賛成多数で可決成立しました。概要は下記の通りです。
- (1)一般会計の総額は534億円で、前年度比3.3%、17億円の増加となります。
- (2)市税は前年度比0.1%増の191.4億円。個人市民税・固定資産税の減を法人市民税の増で埋めます。
- (3)引き続きモーターボート競走の売り上げ好調が予想され、一般会計へ18億円余の繰出しを見込みます。
- (4)予算の重点施策としては、デジタル化の推進による行政運営と子育てと学びのしやすい街作りなど。

「一般質問」

3月議会の一般質問は、コロナ禍の状況を考慮し、質問時間を30分、質問は1項目につき3回までに制限しました。私は、①日本経済新聞が毎年実施する「育児の街ランキング」で、前年の全国9位から8位にランクアップしたことについて、及び ②「吉川英治記念館の集客事業についての、2項目の質問をしました。

「共働き子育てしやすい街ランキング2021」で青梅市が全国8位にランクされたことについて

(私の質問)	(市長答弁)
(1) 今回の調査・質問に関し、どのような点に注力して回答しましたか？また、1ランクアップし8位となった要因をどう捉えているか伺います。	(1) 順位を上げた要因は、①保育所への入所やすさと良質な保育環境、②学童保育所の適切な管理・運営、③障がい児保育に対する取組が評価されたと捉えています。
(2) 昨年の一般質問で不妊治療に対する市の独自施策を提案しました。厚労省から保険適用の概要が示されました。検討をどう深めるか伺います。	(2) 保険が適用されない治療法があることは認識していますが、市独自の助成については、必要性について研究してまいります。
(3) マスコミ調査で8位という評価と、市民への世論調査の市民意識とはギャップがあります。この相違点をどう捉えるか伺います。	(3) 「子どもの安心・安全な居場所づくり」「保育所や幼稚園の整備」等、子育て支援の充実に活かし、子育てしやすい街を実感するよう努めます。
(4) 青梅市は、人口減少という課題に直面しています。市の人口増加策に、今回高い評価を得た子育て施策をどう結び付けるか伺います。	(4) 安心して子どもを生み・育て、暮らし続けたい町の実現のため、今年度から「青梅市移住・定住促進プラン」を展開してまいります。

「吉川英治記念館の集客事業について」

(私の質問)	(市長答弁)

(1) 令和2年9月開館から本年1月までの入館実績と計画との差異について。またこの差に、コロナの影響が、どの程度あったか伺います。	(1) 入館者数が計画比約35%の減、収入は約47%の減となりました。目標未達の理由は、コロナ拡大の影響が大きいと考えられます。
(2) 若い世代への取り組みについて伺います。活字よりアニメに親近感を持つ若い世代に、どのように吉川英治を浸透させるか、具体策を伺います。	(2) 夏季展示において、悪と対決するゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップ展示を実施したところ、若い女性の入館者数が大幅増加しました。
(3) テレビの影響は非常に大きいものがあります。今年のNHK大河ドラマ、「鎌倉殿の13人」を集客に繋がられないか伺います。	(3) 源平合戦にちなんだ「新・平家物語」に関連した展示の実施について、指定管理者と調整しております。

*ゲーム「文豪とアルケミスト」との2回目のタイアップ展示を、7月2日～9月25日の期間で実施します。

「6月議会報告、一般質問」

6月議会の一般質問は、従来通りの質問時間40分、1項目4回までに戻しました。私は、①ウクライナ支援に向け、「ウクライナ避難民の青梅市への受け入れについて」、②「自治会館の耐震・老朽化・立替え」について、③今年度の都立高校入試から採用される「中学校英語スピーキングテスト」の3項目に付き質問しました。

「ウクライナ避難民の青梅市への受け入れについて」

(私の質問)	(市長答弁)
(1) 現在、市にウクライナ避難民は何人来られていますか？また、避難民にどのような対応を考えているのか伺います。	(1) 避難民の状況については、個人情報観点等から答えられません。なお、ウクライナの方は市内に7人です。人道的立場から可能な限り支援します。
(2) 国は身寄りのないウクライナ避難民を受け入れる自治体を求めています。この国の呼びかけに応じ、申し出るべきではないか？伺います。	(2) 国に申し出は行ってないが、情報を随時把握し、受け入れが必要になった場合の対応方法について、庁内で協議を行っています。
(3) 国は住宅支援・生活支援等の具体例を示しています。市としても準備の必要があるのではないかと伺います。	(3) 市営住宅での受け入れを事前準備します。生活支援については、状況に鑑み、個別に丁寧な対応に努めます。
(4) 市は平和運動に積極的に取り組んで来ました。平和を希求するウクライナ市民を支援する活動が我々に求められています。ウクライナ支援の立ち位置と、市の具体的支援策を伺います。	(4) 市は昭和33年に東日本では最初の「世界平和都市宣言」をするなど、平和運動を推進して来ました。平和な日常が奪われたウクライナ避難民に寄り添い、全庁一丸となって対応を進めます。

「市内自治会館の耐震及び老朽化の現状と今後の対応について」

(私の質問)	(市長答弁)
(1) 築後40年以上の自治会館の数を伺います。	(1) 133棟の自治会館の内、昭和54年以前は74棟です。
(2) 調査によりますと、耐震診断の完了が15%、耐震補強工事完了が9%となっています。完了率の低い要因は、何なのか伺います。	(2) 耐震診断、耐震改修工事の実施に当たっては、自治会の金銭的負担が大きいことが主な要因と捉えています。
(3) 災害時の避難場所としての役割も担う自治会館です。耐震診断・耐震改修工事等の助成拡大が出来ないか？伺います。	(3) 耐震診断・改修工事の補助率は2分の1です。(上限あり) 耐震診断・工事への支援拡充について、検討してまいります。
(4) 自治会は、市政を支える基盤の組織です。自治会館の建替えに向け、市としての基金の創設を提案します。また、国や都に助成拡大の要請を求めます。	(4) 基金の創設は研究します。国や都などに対し、支援制度の創設等、機会を捉え市長会等に働きかけていきます。

「中学校英語スピーキングテストについて」

(私の質問)	(教育長答弁)
(1) 今年度から中学3年生に、英語スピーキングテストが実施されます。このテストの目的について伺います。	(1) 学校で学んだ内容を確認し、「英語で話す力」を高める目的で、本年度から実施します。
(2) テスト結果が都立高校の入試に加算されるとの事ですが、テストの内容と、この間に実施した準備について伺います。	(2) 学力検査と調査書の1000点に最大20点が加算されますが、未受験でも、ペナルティはありません。昨年9月に各中学校で、確認テスト実施しています。
(3) さいたま市など、英語教育の先進地の取り組みを参考にするなど、英語力向上へ向けての、市教育委員会の方針を伺います。	(3) 習熟度別に授業を行う体制の他、教員の授業力向上に取り組む等、多面的な方策で英語力の向上を図ります。